



とちぎマイスター「表装（表具作業）」技能の例

美術館、博物館、神社仏閣、個人所有の古美術品の修復に卓越

たか く ゆう じ
高久 裕司 鹿沼市 在住

(有)高久表装店 代表取締役 (TEL 0289-62-2737)

掛軸、額、巻物、屏風、衝立、襖等の製作・修復

(現在の仕事)

美術館、博物館、神社仏閣、個人所有の絵や書の新規製作、古美術品の修復を主に行っている。毎年小学生の「職人さんに学ぼう」という授業にも参加し、子供達にももの作りの素晴らしさを伝えている。

(得意な分野)

古美術品の修復を得意としており、掛軸、額、屏風、巻物、衝立、襖等の書や絵画を、シミ・カビ・汚れを落とす洗浄から、虫食いや破損の補修、裏打ちまで行い、もとの形態に修復していく。県内はもとより県外からの依頼も多い。

一点一点作品と向き合おう

古美術品の修復は、一点一点状態が違うため、それぞれの作品に合わせた作業が必要になります。作品と向き合い、どのように修復していけばよいか考え、あせらずじっくりとやっていく事が大切です。

また、昔ながらのやり方も十分に考慮した上で新しい工法も考えていくとよいと思います。現代の住居にふさわしく受け入れられる作品になるように考え、作品に新たな息吹を与えてほしいです。私も微力ながら技能と技術を次世代に継承し育成をしていきたいと思っています。

